

《9月定例会》

9月1日から9月26日までの26日間にわたり議会定例会が開かれ、市長提出議案25件を審議しました。

D X推進課



問 システム関連の費用は年々増大していくと思われるが、費用を抑える工夫が必要になるのではないかな。

答 令和6年度に基幹系業務システムの統一化を実施したことにより、システム運用保守費やシステム使用料等を抑えることができた。今後も費用抑制に努めていく。

農政課



問 農業用排水路管理費交付金事業の交付団体の推移は。今後、農家の高齢化等により団体数が少なくなってくると思われるが、対策はあるのかな。

答 過去の資料がないため推移は不明だが、令和6年度では21団体に交付している。高齢化等により団体数が少なくなってくるため、交付金額が多額であり、維持管理など業者委託が可能な多面的機能支払交付金の交付対象団体の設立を促していく。

道路課



問 新白岡駅東口の雨漏りについて、どのような改善を行っているのかな。

答 梅雨前に屋根の点検等を行っているが、集中的な豪雨の際は雨漏りをしていることを確認している。現在、原因が特定できない状態であるが、今後、原因が特定された場合は、あらためて予算を計上することになる。

1年分の行政

令和6年度
白岡市一般会計歳入歳出決算

街づくり課



問 エリアマネジメント団体への支援として、令和6年度は何を行ったのか。

答 市は、エリアマネジメント団体への支援に係る業務委託を行っている。令和6年度の業務委託では、組織法人格運営支援、賑わい事業実施、各種会議・勉強会開催の支援、都市再生推進法人に向けての検討、旧自転車駐車場の活用に向けての検討、情報発信事業の支援、エリアマネジメント組織の運営、事業実施にかかる支援等を実施した。
都市再生推進法人に向けての検討では、先進地への視察も実施している。

建築課



問 令和6年度の5件の耐震診断の申請のうち、耐震改修等を行ったかたはいたか。また、耐震改修等を行わない理由は何かな。

答 5件のうち、4件は耐震性がないという結果であった。また、耐震改修を行わない理由には、高額な費用負担、将来的な計画が未定であることなどが挙げられる。

高齢介護課



問 成年後見制度の相談状況及び利用状況はどのようなになっているかな。

答 成年後見サポートセンターでの相談件数は、令和5年度が91件、令和6年度が98件である。また、利用者数は、令和5年が49人、令和6年が35人である。

議案
第73号 ▶ 認定

令和6年度 一般会計歳入歳出決算

を総点検！決算審査



歳入…210億7096万2207円(前年度比3.2%増)

歳出…200億5844万3583円(前年度比6.7%増)

差引額…10億1251万8624円

健康増進課



問 新型コロナウイルス感染症予防接種事業について、健康被害救済制度の申請件数と認定件数は。

答 現在まで8件申請があり、認定7件、否認1件であり、医療費及び医療手当として約250万円を支払っている。

教育総務課



問 学校給食調理室にもエアコンを設置できないかな。

答 給食室にエアコンを設置するのは、一度に実施しないと不公平感がある。体育館へのエアコン設置はこれから行うが、電気を送るキュービクルが、電力需要に追いつかなくなってくる。既存のキュービクルが、どこまで対応できるかを検討していきたい。

生涯学習課



問 白岡市子ども会育成会補助金について、子ども会の数の推移は。

答 数は年々減少しており、令和7年度の子ども会は5団体、保護者86人、児童112人である。

問 市指定文化財保存事業費補助金について、毎年同じような団体に交付しているか見受けられるかな。

答 各団体の申請に基づいて交付している。令和6年度は3件、令和5年度は2件交付した。篠津の天王様の山車提灯に伴うものが多い。

教育指導課



問 いじめ防止対策推進事業は予算の約半分を使っている。委員会での取組や結果は。また、不用額で啓発は行っているのか。今後の予定は。

答 年1回の定例会を行っており、そこでは各学校の状況、取組を話し合っている。御意見や提言を頂いているものではない。低学年のいじめの件数が少ないことについて、指摘を受けた。この点について、教員の見逃しのないよう校長会で指導をお願いした。予算は何かあった際に対応するための確保も行っている。

財政課

問 歳入を増やすために、どのような工夫や取組をしたか。また、長引く物価高騰の影響がどう表れているのかな。

答 歳入の増加に向けて、企業版ふるさと納税制度や国・県の補助制度の活用など、各種取組を実施した。また、物価上昇は、業務量の変化などにより、影響額を示すことは難しいが、学校給食費の一部を減免するなど、物価高騰に対する各種事業を実施した。

会計課

問 10億円余を債券にて運用している。31万円の減額は、満期償還額(額面金額)よりも高くその債券を取得したからなのか。

答 31万円の減額は、債券の償却原価処理によるものである。この処理により、額面価格より高く購入したものを適切に管理している。